HITACHI

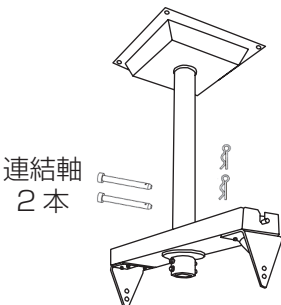
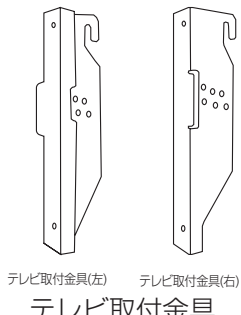
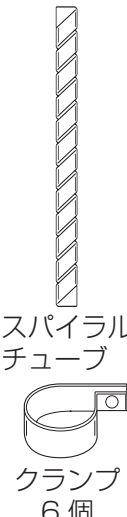
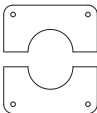
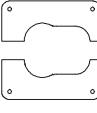
日立プラズマテレビ専用天吊りユニット

形名

TB-PTA0081　設置説明書

このたびは日立プラズマテレビ専用天吊りユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この「設置説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。
◎ このプラズマテレビ天吊りユニットは、次の日立プラズマテレビ専用です。

【取付け対象製品】

日立プラズマテレビ	P50-XP07, P46-XP07, P42-XP07, P42-HP06, P50-XP05, P46-XP05, P42-XP05, P42-HP05, P50-XP03, P46-XP03, P42-XP03, P42-HP03, P42-HR02, P50-HR02, P50-XR02

※本適用機種の記載は 2011 年 4 月現在のものであり、最新の適用機種と組付け説明は日立コンシューマエレクトロニクス（株）のWEB の製品情報「http://av.hitachi.co.jp/tv/」をご覧頂き、最新のオプション設置説明書をご覧ください。

■プラズマテレビの取付けには特別な技術が必要です。
　お客様による工事は一切行わないでください。
■設置は、必ず取付け工事業者に依頼してください。
■取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

◎ **販売店様、工事店様へ**
- お客様の安全のため取付け場所の強度には、プラズマテレビおよび天吊りユニットの荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。
- 各取付けに際しては、必ず 2 人以上で行ってください。
- 設置説明書で指定されているネジや固定具は全数確実に取りつけてください。

部品構成表

使用上のご注意　安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

●製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような絵表示をしています。

■この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■この記号は注意（警告を含む）を促す内容を示します。

注意(一般)

■この記号は禁止の行為であることを示します。

禁止(一般)

分解禁止

■この記号は指示の行為であることを示します。

指示(一般)

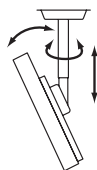
電源プラグをコンセントから抜くこと

安全上のご注意

電源プラグをコンセントから抜く

販売店へ連絡を

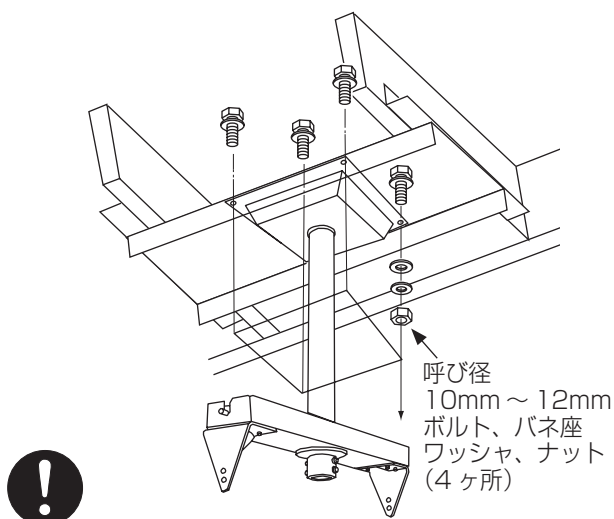
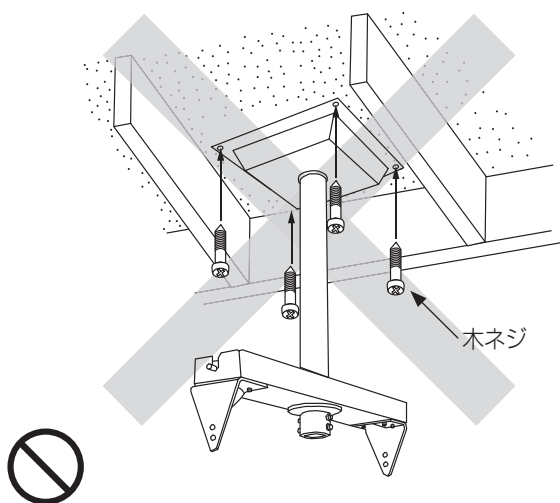
■**異常が発生したらプラズマテレビの電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置してください。**

万一、　・プラズマテレビのガタや振動が激しい、
　　　　・取付けネジや部品のゆるみやはずれがある、
などの異常状態でご使用になると、傷害の原因になります。
異常が発生したらすぐに、
①プラズマテレビの電源スイッチを OFF にしてください。
②電源プラグをコンセントから抜いてください。
③人が近寄れないようロープを張るなどの処置をしてください。
④販売店、工事業者に連絡してください。

工事業者以外取扱い禁止

■**天吊りユニットの設置や角度の調整を行う際は、必ず販売店、工事業者に依頼してください。**

誤った取付け、調整を行った場合、プラズマテレビが落下して傷害の原因になります。

設置場所について

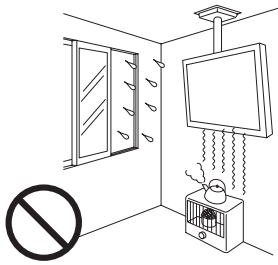
⚠警告

■天吊りユニットを設置する天井面は、プラズマテレビと天吊りユニット等の総合荷重に長期間十分耐え、また地震や想定される震動や外力に十分耐える施工を行ってください。

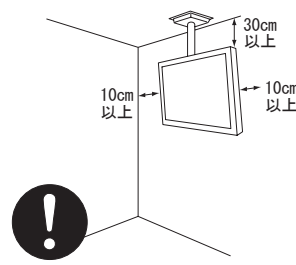
誤った取付け、調整を行った場合、プラズマテレビが落下して傷害の原因になります。

- 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、ボルト、バネ座、ワッシャ、ナットで確実に取付けください。
- 強度が不十分な天井面への直接取付けや、引抜力の信頼性が低い木ネジやアンカーネジは使用しないでください。
- 天吊りユニットを天井構造材に取付けるためのネジ類は構造材に合った市販の呼び径 10 ～ 12mm 用をご使用ください。

（プラズマテレビ+天吊りユニット）の合計質量

P50-XP07	(29.2kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 41.5kg
P46-XP07	(26.2kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 38.5kg
P42-XP07	(22.8kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 35.1kg
P42-HP06	(24.4kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 36.7kg
P50-XP05	(26.9kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 39.2kg
P50-XP03	(33.1kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 45.4kg
P46-XP05	(24.9kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 37.2kg
P46-XP03	(30.1kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 42.4kg
P42-XP05	(20.9kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 33.2kg
P42-HP05	(25.2kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 37.5kg
P42-XP03	(26.5kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 38.8kg
P42-HP03	(25.1kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 37.4kg
P42-HR02	(32.2kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 44.5kg
P50-HR02	(40.7kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 53.0kg
P50-XR02	(43.1kg)+ 天吊ユニット (12.3kg) = 55.4kg

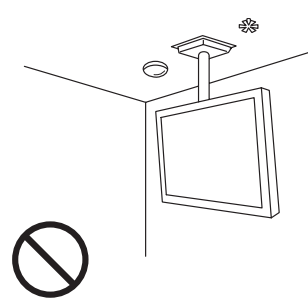
⚠注意

■温度や湿度の高いところや水のかかるところに取付けないでください。

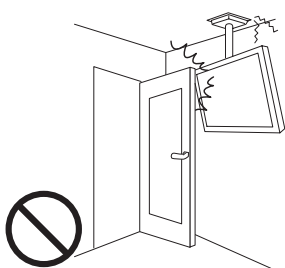
火災や感電の原因になることがあります。

■通風孔をふさがないでください。また周囲に十分に距離をとり通風をさまたげないようにしてください。

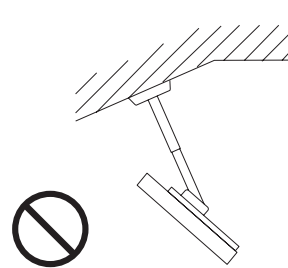
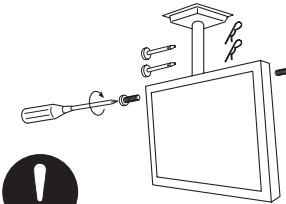
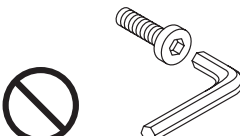
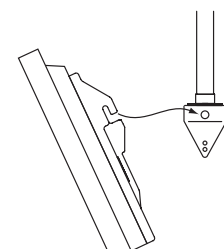
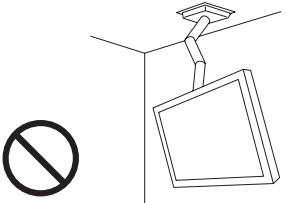
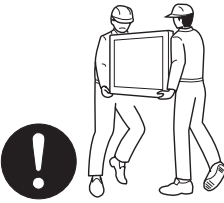
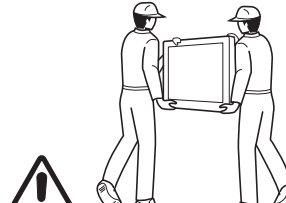
内部が高温になって火災の原因になることがあります。

■エアーコンディショナーの吹出し、吸込み口のそばに取付けないでください。

■ほこりや油煙、たばこの煙の多い場所に取付けないでください。

火災の原因になることがあります。

■スプリンクラーや感知器のそばに取付けないでください。

誤動作や感電の原因になることがあります。

■振動の多いところや衝撃や大きな力がかかるところに取付けないでください。

落下や破損による傷害の原因になることがあります。

■水平面以外には取付けないでください。また、あおむけに取付けないでください。

破損による落下の原因やプラズマテレビの異常な温度上昇による火災の原因になることがあります。

設置するとき

⚠警告

■連結軸、スナップピンやボルト、ネジ類は所定の場所に確実に取付けてください。
プラズマテレビが落下してけがの原因になります。

■六角レンチ頭のネジはゆるめたり、はずしたりしないでください。
取付けが不完全になり、落下してけがの原因になります。

■プラズマテレビ側のテレビ取付金具と角度調整金具の引掛けつめが確実に入っていることを確認してください。
プラズマテレビが落下してけがの原因になります。

■部品を改造しないでください。また、こわれた部品を使わないでください。
プラズマテレビが落下してけがの原因になります。

■設置作業は必ず二人以上で行ってください。
重量物が落下してけがの原因になります。

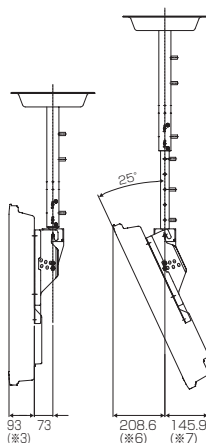
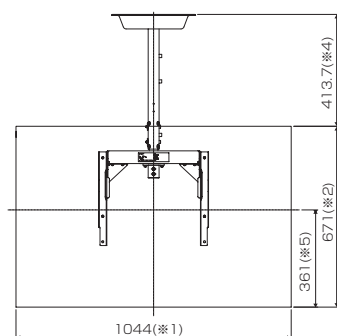
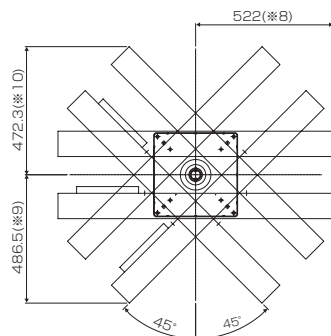
■指を挟まないように注意してください。

■頭や顔、手足をぶつける場所に設置しないでください。

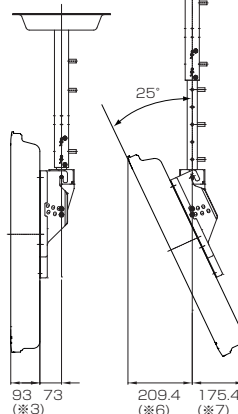
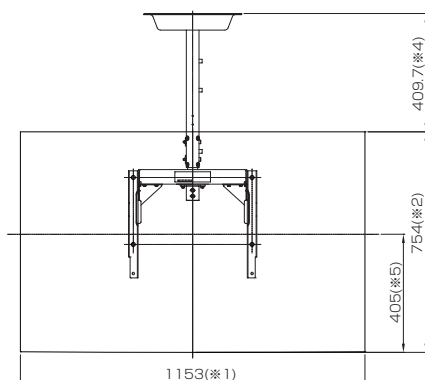
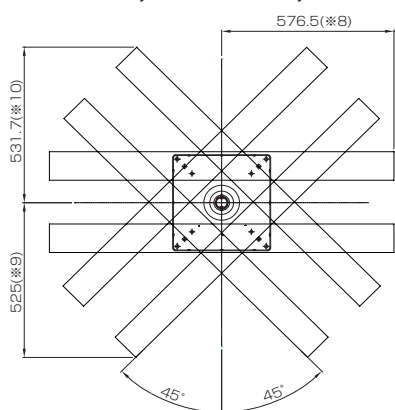
設置方法

設置場所のスペース

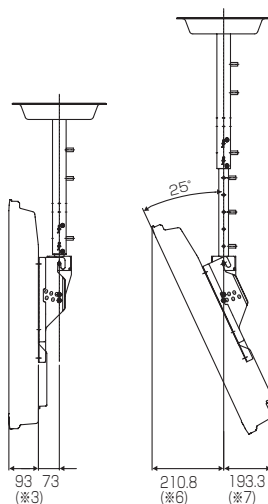
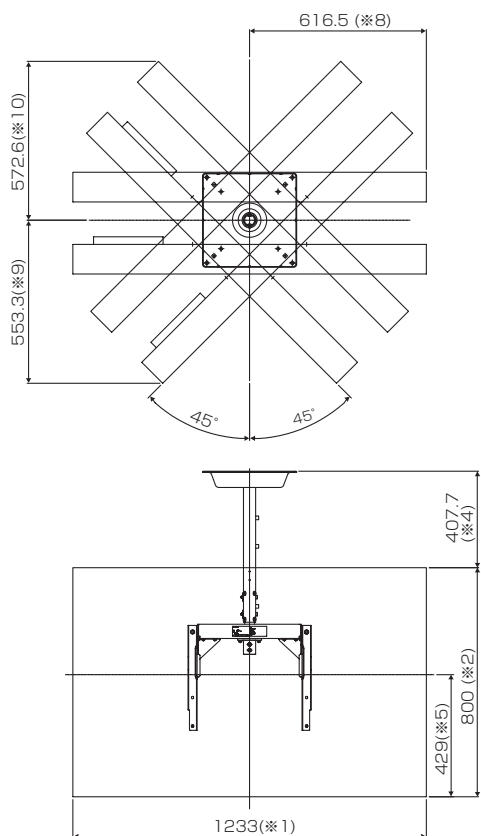
天吊りユニット寸法図を参考に、天井強度が十分確保されている設置場所を決めてください。また、天吊りユニットの高さ調節位置や画面の前傾角度、左右方向角度も事前に設定してください。
プラズマテレビの寸法は機種により多少異なる場合があります。

(プラズマ) P42-XP07, P42-HP06, P42-XP05, P42-HP05, P42-XP03, P42-HP03, P42-HR02

	P42-HP06 P42-HP05	P42-XP03 P42-HP03	P42-HR02
※ 1	1045	1084	1082
※ 2	671	711	710.7
※ 3	100	98	99.5
※ 4	413.7	420	439.9
※ 5	361	382	381.9
※ 6	214.3	211.1	204.1
※ 7	145.9	160.2	171.2
※ 8	522	542	541
※ 9	419.8	503.5	504.5
※ 10	472.3	495.8	503.6

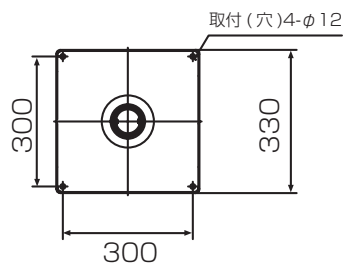
P42-XP07, P42-XP05 以外の寸法は右表に示す（※ 1 ～※ 10）

(プラズマ) P46-XP07, P46-XP05, P46-XP03

	P46-XP03
※ 1	1162
※ 2	758
※ 3	98
※ 4	406.7
※ 5	406
※ 6	216.6
※ 7	175.4
※ 8	581
※ 9	531.7
※ 10	534.9

P46-XP07, P46-XP05 以外の寸法は右表に示す（※ 1 ～※ 10）

プラズマ　P50-XP07, P50-XP05, P50-XP03, P50-HR02, P50-XR02

	P50-XP03	P50-XR02 P50-HR02
※ 1	1242	1240
※ 2	804	803.4
※ 3	98	103.9
※ 4	403.2	338.2
※ 5	428.5	427.9
※ 6	218.2	251
※ 7	193.3	167.9
※ 8	621	620
※ 9	559.3	571.9
※ 10	575.1	557.1

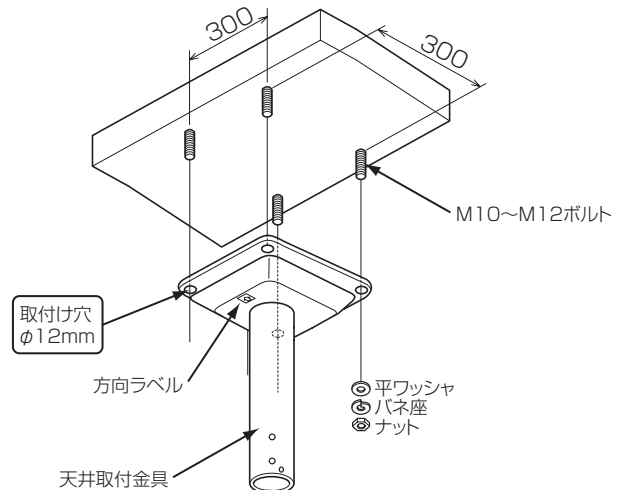
P50-XP07, P50-XP05 以外の寸法は右表に示す
(※ 1 ～※ 10)

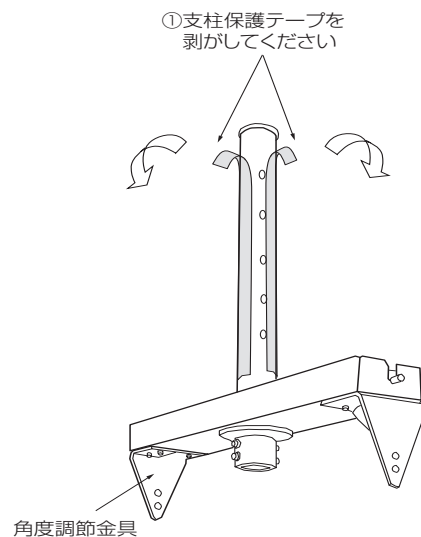
天井取付部寸法

調節可能範囲

高さ方向：300mm（P60×5 段階）
前傾角度:0,5,10,15,20,25°(6 段階)
左右方向角度：左右各 45°(連続)

天井取付金具の取付け

1. 天井への取付け

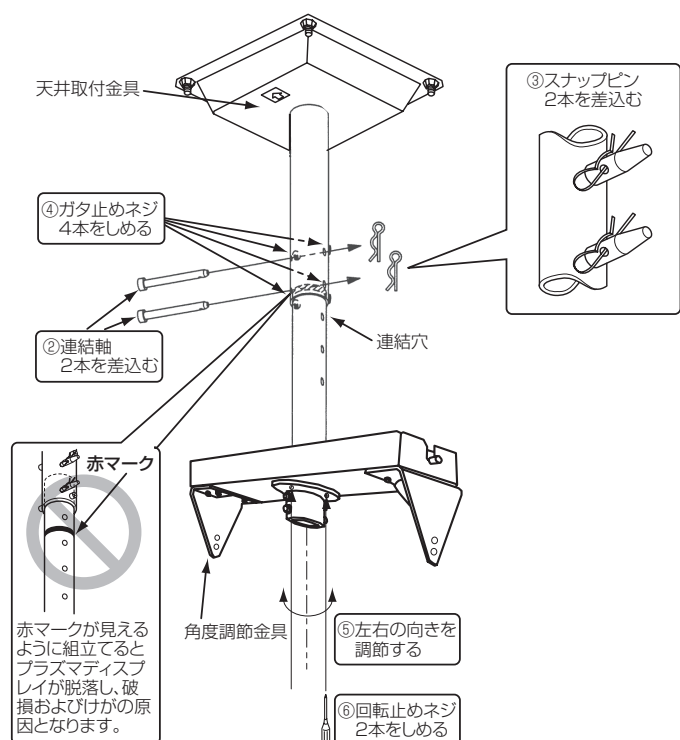
- 天井側のボルト類やワッシャ類、ナット類は天井の構造に応じて適切な市販品をご使用ください。ボルトはM10～M12とし、4ヵ所で確実に固定してください。
- 天井取付金具の方向ラベルの矢印の向きが前になるように、天井に取付けてください。

2. 角度調節金具の取付け

①はじめに、角度調節金具支柱部の保護テープを剥がしてください。

②角度調節金具を天井取付金具に差し込んでください。
このとき、パイプの赤マークが見えない範囲で高さを調節して、連結軸2本を差し込んでください。
高さ方向は60mm × 5段階＝300mmの調整が可能です。
また角度調節金具の連結穴を必ず2本の連結軸とも貫通させてください。

③連結軸の先端の穴にスナップピンを差し込んでください。

④ガタ止めネジ4本を締めつけてください。

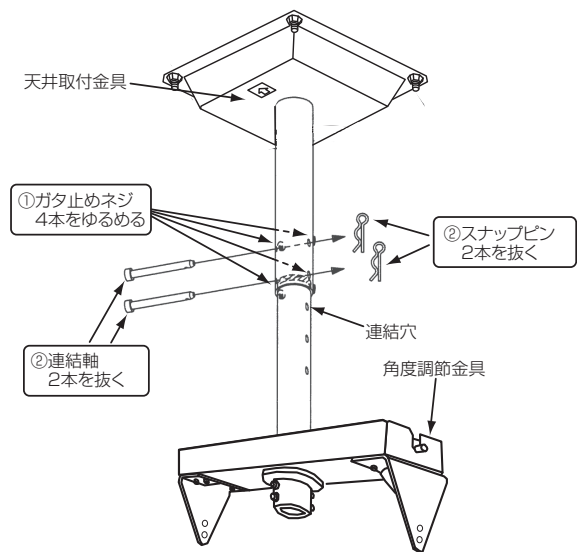
⑤画面の左右方向の向きを調節してください。

⑥回転止めネジ2本を締めつけてください。

天井取付金具の取付け

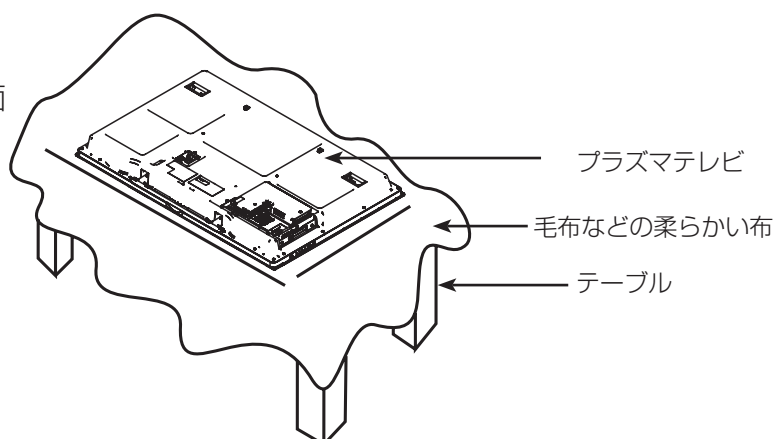
3. 分解する場合（角度調整金具の取外し）

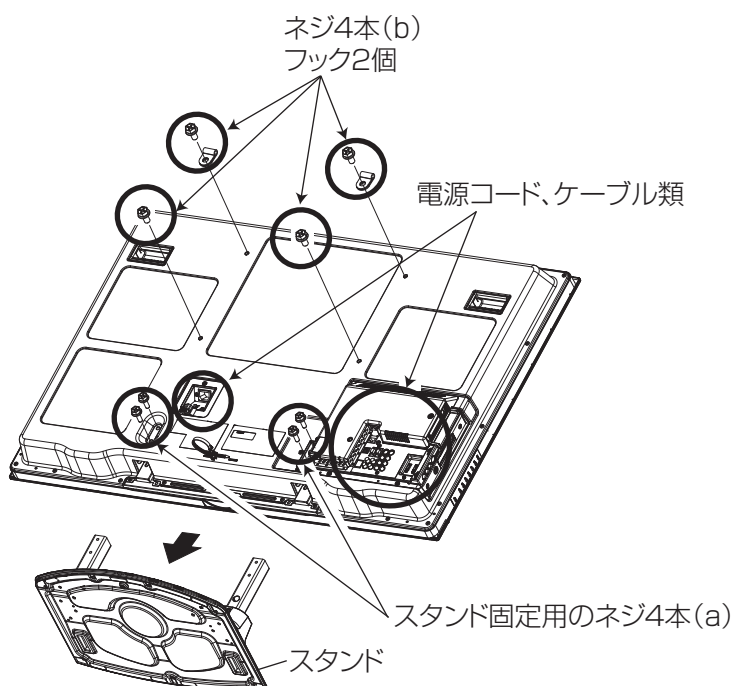
①ガタ止めネジ 4 本と回転止めネジ 2 本をわずかにゆるめてください。
上記のネジはゆるめるだけで、抜き取らないでください。

②スナップピン 2 個を抜き、角度調整金具が抜け落ちないよう保持しながら、連結軸 2 本を抜いてください。

③天井取付金具と角度調節金具を別々にしてください。

テレビ取付金具をプラズマテレビに取付ける

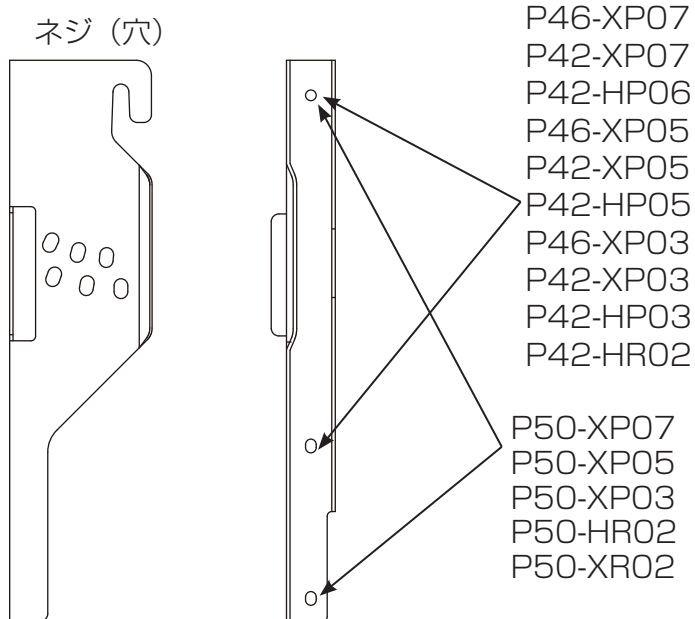
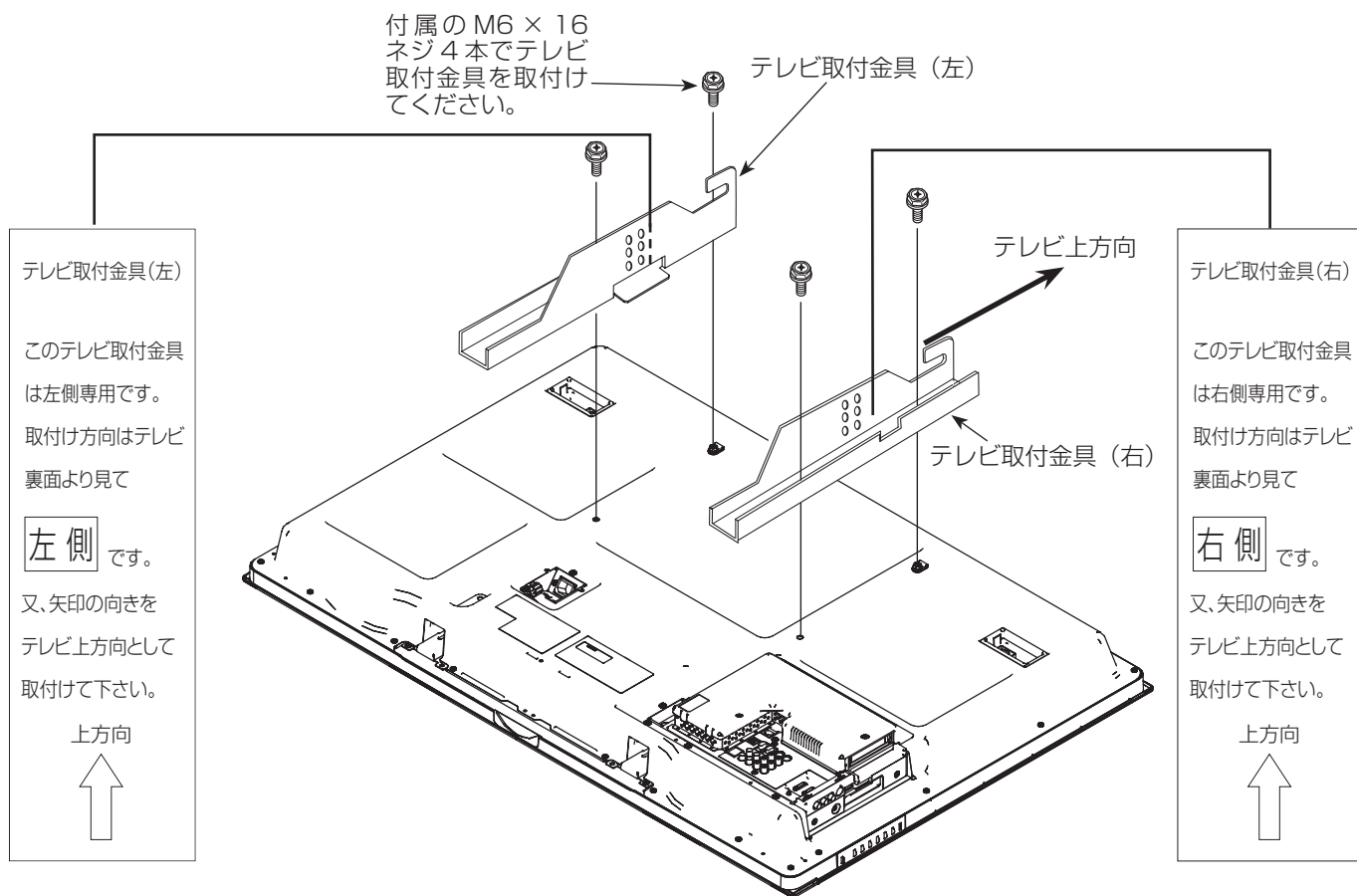
1. プラズマテレビを水平な場所に置きます。

■テレビのパネルを傷つけないように、水平な場所に柔らかい布などを敷き、その上にプラズマテレビの正面（画面側）を下に向けて置いてください。

2. プラズマテレビにスタンドや電源コード、ケーブル類が付いている場合はそれらをはずしてください。

■スタンドがついている場合は、スタンド固定用のネジ４本 (a) をはずして、プラズマテレビからスタンドをはずしてください。
■電源コード、ケーブル類をクランプからはずしてください。
■プラズマテレビからネジ ４ 本 (b) とフック ２ つをはずしてください。

お願い

はずしたネジおよびフックは、スタンドをお使いになる際に必要になりますので、大切に保管してください。

３. テレビ取付金具を取付ける

■テレビ取付金具を M6 × 16 ネジ４本で取付けてください。締付トルクは約 98N・cm(10kgf・cm) としてください。テレビ取付け金具は（右）と（左）がありますので、取付の際お間違いのないようご注意ください。また、テレビ取付け金具に貼ってある注意文の⇧の向きをテレビの上方向としてください。ネジ（穴）の位置は対応機種により異なります。

⚠警告

取り付けネジは本壁掛けユニットに付属の M6 × 16 ネジを使用してください。
他のネジを使用するとプラズマテレビの故障や落下によるけが、損害、火災、感電の原因になります。

プラズマテレビを角度調節金具に取付ける

1. プラズマテレビ背面に取付けたテレビ取付金具の引掛け切欠きを角度調節金具の受け軸に引掛けてください。

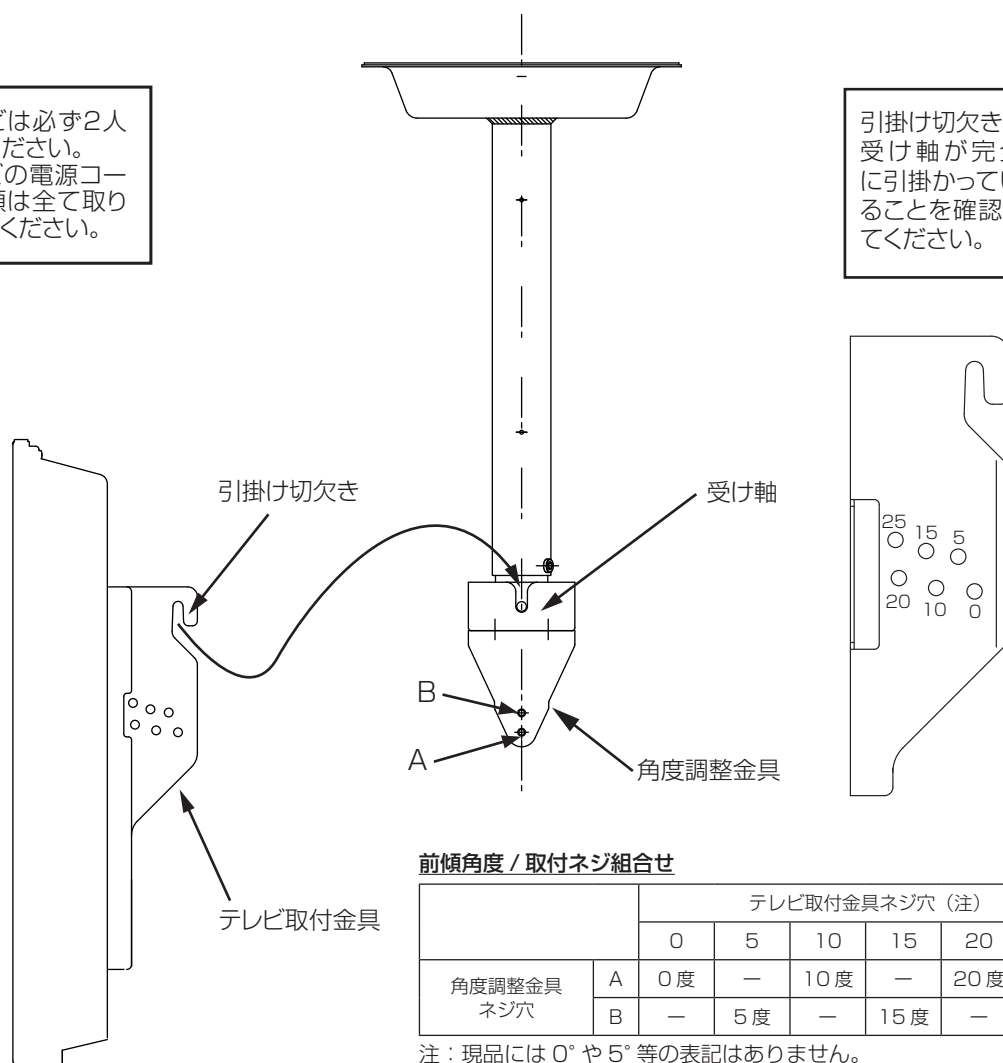
●プラズマテレビは必ず2人以上で運んでください。
●プラズマテレビの電源コード等ケーブル類は全て取りはずしておいてください。

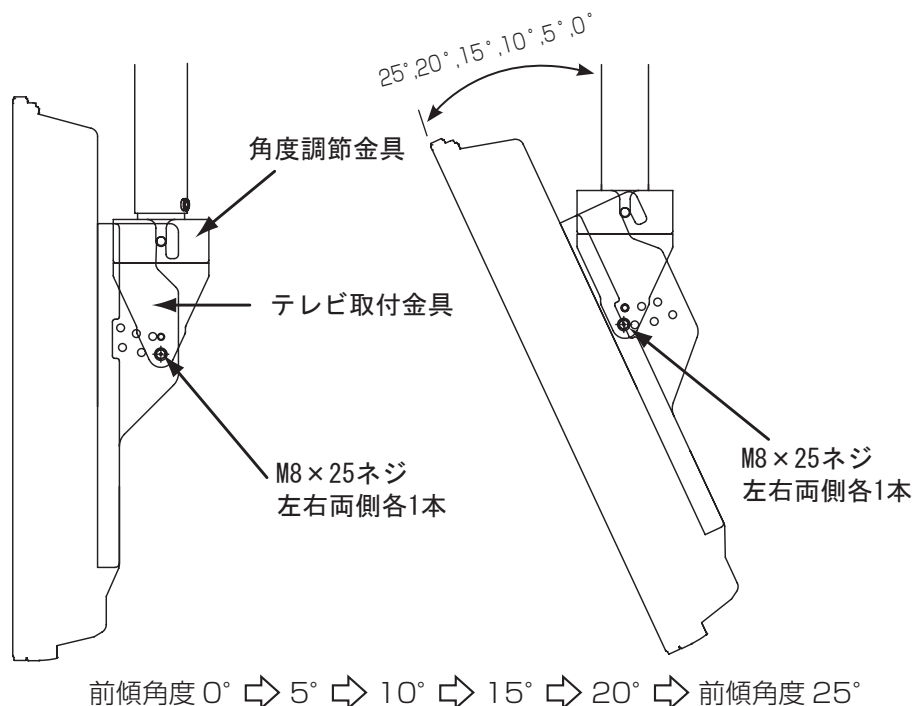
引掛け切欠きと受け軸が完全に引掛かっていることを確認してください。

引掛け切欠き
受け軸
B
A
角度調整金具
テレビ取付金具
25 15 5
20 10 0

前傾角度 / 取付ネジ組合せ

		テレビ取付金具ネジ穴（注）					
		0	5	10	15	20	25
角度調整金具ネジ穴	A	0度	ー	10度	ー	20度	ー
	B	ー	5度	ー	15度	ー	25度

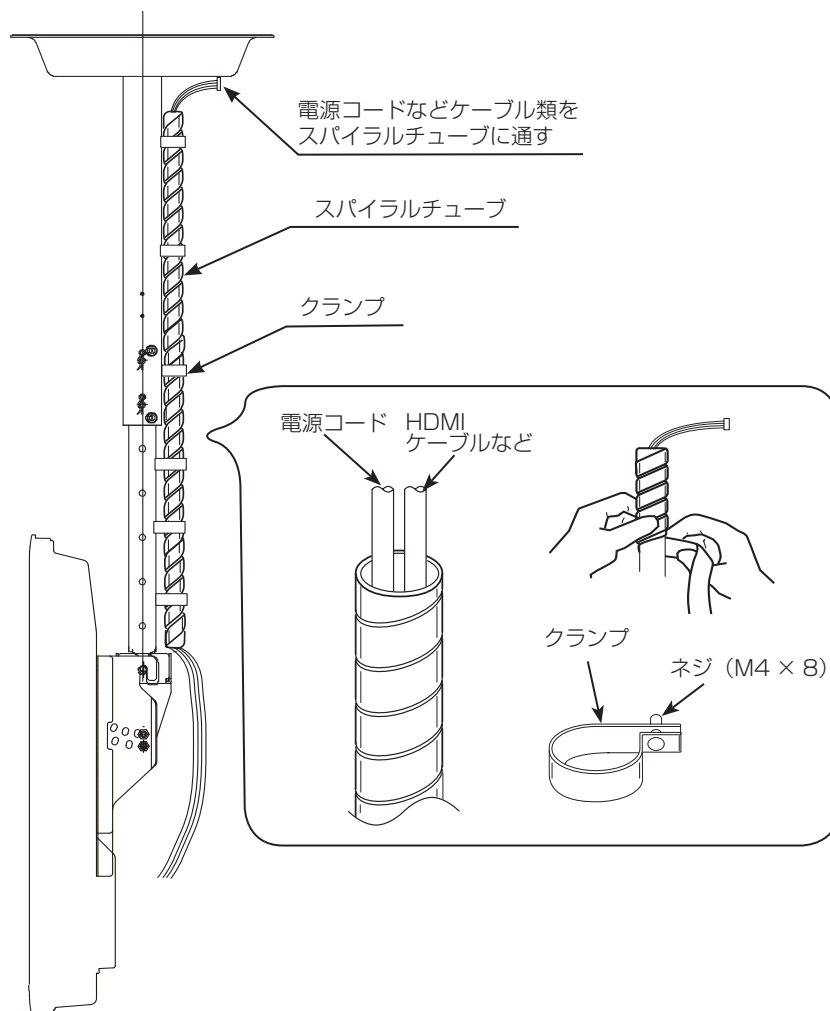
注：現品には 0° や 5° 等の表記はありません。

2. プラズマテレビの前傾角度を調節し、角度調節金具の両側から付属の M8×25 ネジ 2 本で固定してください。

前傾角度 0° ⇨ 5° ⇨ 10° ⇨ 15° ⇨ 20° ⇨ 前傾角度 25°

3. 取付け完了後、配線ケーブルを必要に応じケーブルクランプで固定してください。

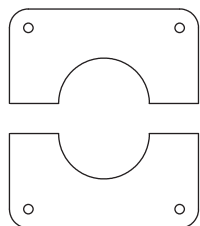
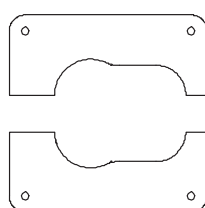
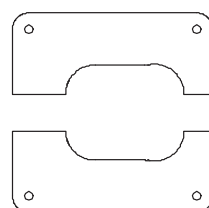
電源コードなどケーブル類の配線

1. 配線の方法

● 電源コードなどケーブル類は、付属のスパイラルチューブに通して配線してください。
スパイラルチューブは適切な長さにハサミ等で切ってご使用ください。

● 電源コードなどのケーブル類を通したスパイラルチューブは、付属のクランプと付属の M4×8 ネジで支柱に固定してください。(最大 6 個所)

天井カバーの取付け

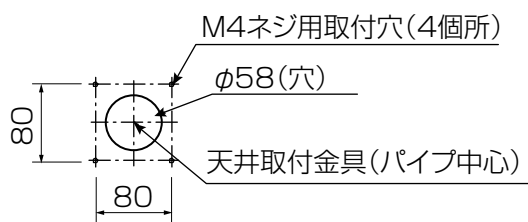
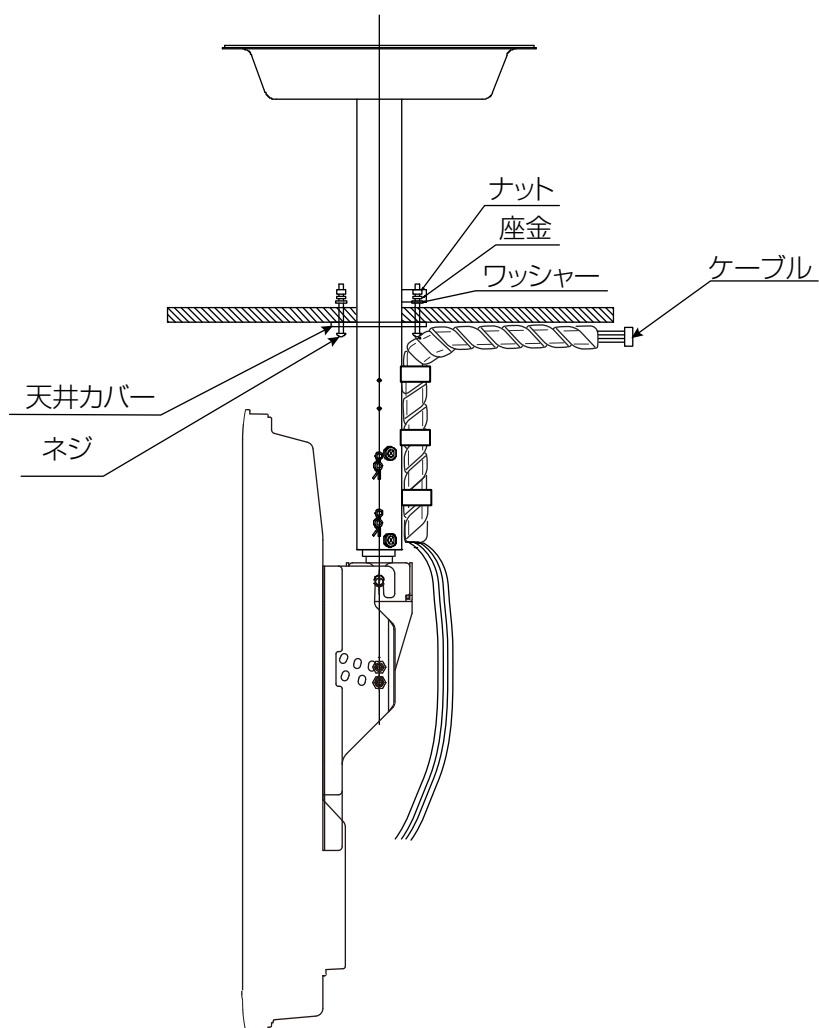
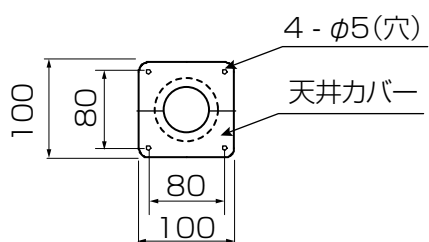
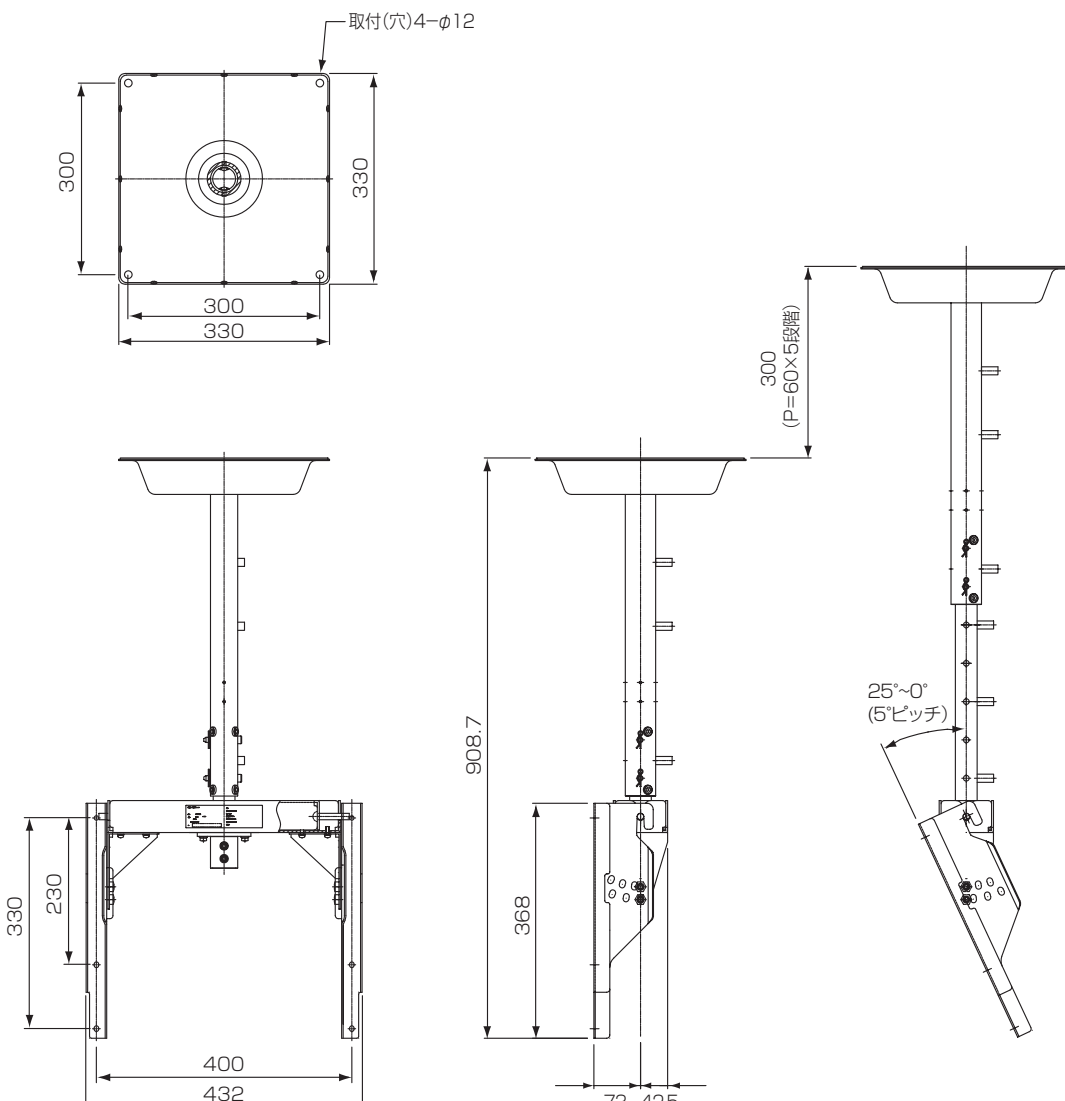
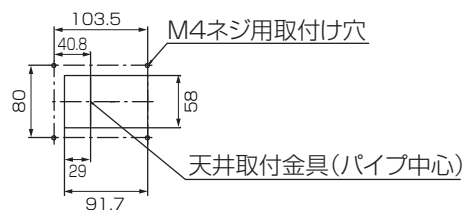
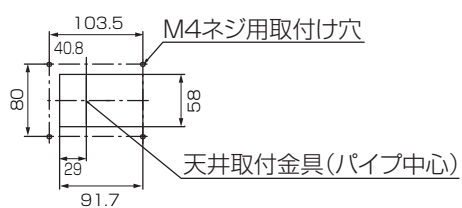
天井カバーは、ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通さないタイプとケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通すタイプ (アウターパイプ用とインナーパイプ用) の計 3 種類を用意しましたので必要に応じてご使用ください。天井への穴加工（参考寸法）は異なりますのでご注意ください。天井への取付けネジ類は、天井の構造に応じて適切な市販品をご使用ください。

ケーブル（スパイラルチューブ）
を天井内部に通さないタイプ

ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通す
タイプ（アウターパイプ用とインナーパイプ用の 2 機種）

アウターパイプ用

インナーパイプ用

ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通さない場合の天井加工参考寸法

ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通さない場合の設置側

4 - φ5（穴）
天井カバー
100
80
80
100

ナット
座金
ワッシャー
ケーブル
天井カバー
ネジ

ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通す場合の天井加工参考寸法

ケーブル（スパイラルチューブ）を天井内部に通す場合の設置例

製品仕様

外形寸法	単位：mm

項目	内容
質量	12.3kg
主な素材	鋼板
表面処理	シルバー塗装
前傾角度調整	0、5、10、15、20、25°(6段階)
左右角度調節	±45°(連続)
上下方向位置調節	300mm (P60mm×5段階)
取付対象製品	日立プラズマテレビ P50-XP07, P46-XP07, P42-XP07, P42-HP06, P50-XP05, P46-XP05, P42-XP05, P42-HP05, P50-XP03, P46-XP03, P42-XP03, P42-HP03, P42-HR02, P50-HR02, P50-XR02

この天吊りユニットは日立コンシューマエレクトロニクス株式会社の認定を受け、株式会社ドリーム・ワールドが製造・販売するものです。

株式会社
ドリーム・ワールド
〒438-0203 静岡県磐田市平間1438
TEL (0538) 67-1666

QA04512-③
Printed in Japan (JE)